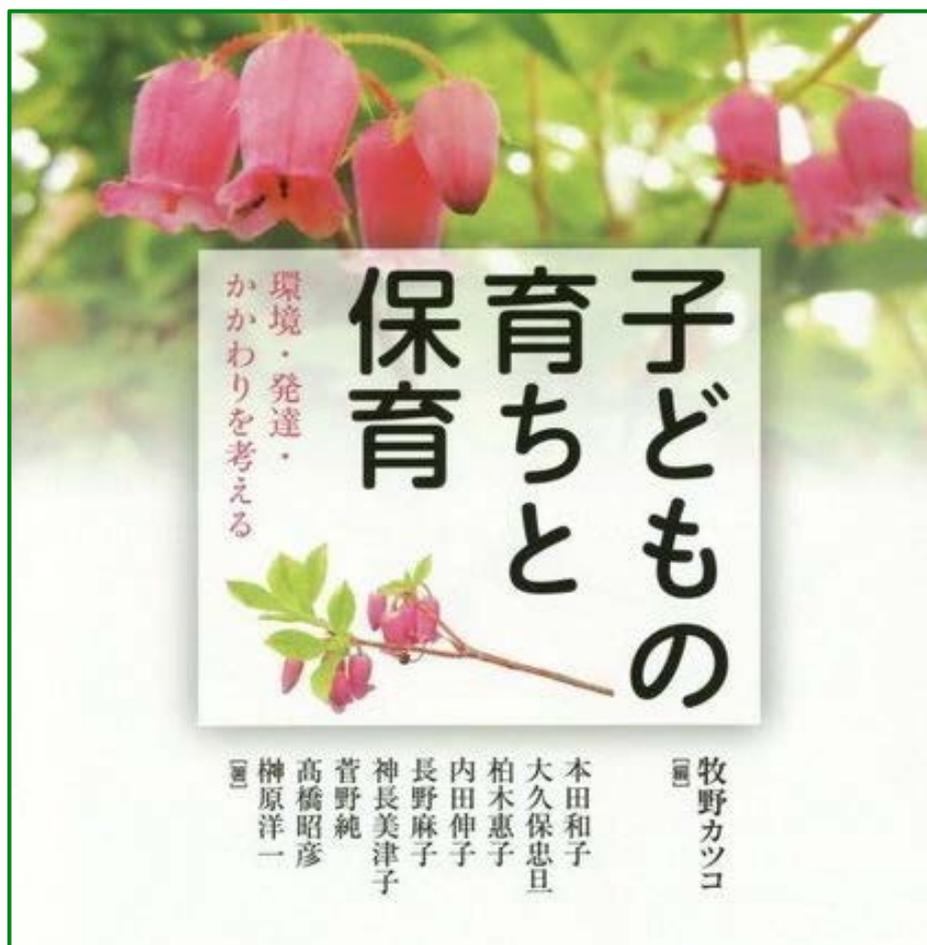


宇都宮共和大学子ども生活学部

子育て支援研究センター公開講座の記録が
装いを新たに、金子書房から出版されました。



目 次

I部 子どもの育つ社会・環境を 考える

1. 子どもへのまなざし
2. 子どもの成長と自然
3. 子どもが育つ条件)

II部 子どもを育むかかわり方 を考える

4. 子どもの創造的想像力を育む親の役割—
5. ことばと呼吸と音楽
6. 幼児期から児童期への教育

III部 気になる子どものケアを 考える

7. 障害発達の心の基礎づくり
8. 医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア
9. 気になる子どもと脳科学

人とのかかわりや自然から学ぶことの大切さ

子どもが安心して育つために必要なことを子育て支援の専門家らが提言。

お母さんにまかせきりにしない子育て、幼児期から児童期へのなめらかな接続、発達障害について知っておきたいことなど、いま、保育に求められる子どもの見方・かかわり方がわかる。

金子書房

定価 本体 2300 円+税

表紙の写真は、栃木県須高原で絶滅が危惧されているウラジオウラクというつつしの仲間です。本学名誉教授・元副学長大久保忠旦先生が花の開花時期を見計らって那須高原に4回も足を運んで撮影されたものです。(本文35頁参照)